

＜対策のポイント＞

アジア・アフリカの開発途上国において、それぞれの国・地域の課題解決に貢献するため、我が国のかんがい排水分野を中心とする先進技術を活用し、農業農村開発を通じた課題解決及び我が国民間企業の海外展開を促進します。

＜事業目標＞

アジア・アフリカ地域における持続的な食料システムのモデル展開（3件以上〔令和10年度まで〕）

＜事業の内容＞

1. グローバルサウスの農業水利施設維持管理手法構築支援 21(一)百万円

南アジアの後発途上国において、主要産業である農業の継続・発展には、老朽化した農業水利施設の中長期的かつ効率的な維持管理が必要不可欠であるため、我が国のストックマネジメントに係る知見・技術を活用し、現地に適した農業水利施設の維持管理手法の構築を支援します。

2. アフリカ等における本邦企業の展開拠点ほ場整備の支援 34(34)百万円

農業関連の本邦企業のアフリカ等への進出を支援するため、我が国の優れた農業技術を現地で実演する展示ほ場を農業基盤整備により造成します。

3. アフリカにおける持続可能な食料生産システム構築支援 35(一)百万円

アフリカにおける①CARDの米生産量倍増目標（2019年～2030年）の達成、②小規模農家の所得向上に資する市場志向型農業導入のための畑地かんがい技術の開発を支援します。また、③農業分野における気候変動への適応力向上のため、我が国のかんがいにに関する知見を活用した現地適用技術の開発・普及、小規模かんがい施設の開発、効率的な水利用の推進、水利組合の運営強化等を支援します。

＜事業の流れ＞



事業実施期間：1、3の事業 令和7年度～令和10年度
2の事業 令和4年度～令和7年度

＜事業イメージ＞

グローバルサウスの農業水利施設維持管理手法構築支援

＜課題＞
農業水利施設の維持管理不足による施設の劣化
→適切な維持管理手法の構築が必要



農業水利施設の劣化

維持管理手法の構築



アフリカ等における本邦企業の展開拠点ほ場整備の支援

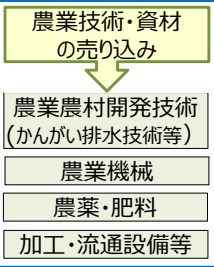
＜課題＞
欧州や中国・韓国と比べて、本邦企業のアフリカ等への進出は出遅れている状況
→我が国の優れた技術を現地で実演し、展開促進



展示ほ場の設置



技術の実証・展示



アフリカにおける持続可能な食料生産システム構築支援

＜課題＞
・農業基盤の未整備や非効率な水利用により、米の作付け面積拡大を阻害
・市場の志向を意識しない収益性の低い農業生産
・水源不足による干ばつ被害



水田の排水改良



市場ニーズに応じた作付作物の導入



循環かんがいの開発